

ジョージアの商業銀行を通じてコロナの影響を受けた中小零細事業者の金融アクセスを改善

事業概要

ジョージアの手前商業銀行であるBank of Georgiaに長期融資を行うことにより、COVID-19により影響を受けたジョージア国内の女性が経営・活躍する中小零細企業（WMSMEs）を含む中小零細企業（MSMEs）の金融アクセスを改善し、同国の持続的な経済成長に寄与するもの。

本事業のポイント

1. ジョージアにおけるMSMEsの金融アクセスの現状と課題

MSMEsは2017年時点で全事業者数の約99.7%、雇用の約62%を占めているなどジョージア経済において重要な役割を担っているが、金融アクセスが限定的であるため、成長の阻害要因となっている。COVID-19の影響により、特に観光、建設、製造セクターの事業者が大きな打撃を受けており、金融アクセスの改善が喫緊の課題となっている。

2. Bank of Georgiaを通じた支援

国内最大級の商業銀行であるBank of Georgiaは、国内全土に212の支店（2021年9月時点）を展開。同行はMSMEs向けローンに強みがあり、今後MSMEs向け事業を強化する方針。また、同行はWMSMEsに対しても積極的に融資を提供。今般、アジア開発銀行と共に、Bank of Georgiaへの融資を通じてWMSMEsを含むMSMEsの金融アクセス改善を図る。

